

# 掛川市教育委員会定例会議事録

会議名	平成31年3月掛川市教育委員会定例会		
場所	掛川市役所南館 教育委員会室		
開催日時	平成31年3月27日（水） 午後1時30分から午後3時13分まで		
出席者	教育長 教育長職務代理者 委員 委員	佐藤嘉晃 戸塚忠治 永田孝明 橋山鈴代 岩尾千佳子	教育部長 学務課長 学校教育課長 社会教育課長 図書館長 こども希望課主幹 教育政策室長 教育政策室教育政策係長 教育政策室指導主事 教育政策室主任
			榛葉貴昭 中山弘一 杉浦雅和美 戸塚和美美夫 奥野寿夫 及川文孝 増田忍 水谷忠史 横井和好 石山尚哲

## 1 協議事項

- (1) 掛川市立小学校及び中学校の管理に関する規則の一部改正について (資料1)
- (2) 掛川市共同学校事務室の組織及び運営に関する規程について (資料2)
- (3) 市内小学校陸上競技大会の在り方検討委員会報告書について (資料3)
- (4) 掛川市教育委員会に置かれる事務局等の組織に関する規則等の一部改正について (資料4)
- (5) 第2期掛川市教育振興基本計画について (資料5)

## 2 報告事項

- (1) 掛川市内小中学校のあらわれについて (資料1)
- (2) 平成31年度児童生徒数及び学級数について (資料2)
- (3) 平成31年度校長・教頭等の一覧について (資料3)
- (4) 平成30年度末離任式及び平成31年度着任式について (資料4)
- (5) 平成30年度掛川市立小中学校「学校評価」について (資料5)
- (6) 平成30年度「虹の架け橋教室」実績について (資料6)
- (7) 英語力調査の結果概要と今後の取組について (資料7)
- (8) 平成31年度掛川市立幼稚園総園児数見込みについて (資料8)
- (9) 平成30年度掛川市立幼稚園における学校評価について (資料9)
- (10) 原野谷学園・城東学園新たな学園づくり地域検討委員会報告書について (資料10)

## 1 開 会

教育長：教育委員会3月定例会を開会する。

## 2 教育委員会2月定例会議事録の承認について

意見はなく、承認された。

## 3 事務報告及び行事予定報告

教育部長から事務報告及び行事予定について、主な事項の説明があった。

## 4 協議事項

- (1) 掛川市立小学校及び中学校の管理に関する規則の一部改正について
- (2) 掛川市共同学校事務室の組織及び運営に関する規程について  
学校教育課長から協議資料1及び資料2のとおり説明があった。

委員：室長は市教委として一人だけということか。

学校教育課長：室長は統括事務主幹にやってもらう。

その他意見はなく、承認された。

- (3) 市内小学校陸上競技大会の在り方検討委員会報告書について  
学校教育課長から協議資料3のとおり説明があった。

委員：議事録を読むと、先生方はやめたい。ただし、保護者はやってほしい。このどちらかで中間がない。最終的な所に行く、「勉強も大事だが、陸上からも大事なものを得た。」の所に、「教員の本音を知ってショックであった。」という言葉が、議事録の中にある。それを知ってしまったので言えなくなったという雰囲気がある。どういうふうやっていくかということもそうだが、子どもの体力低下が叫ばれる中で、私は中学校の体育祭に行ってしまうが、個別で何か賞を取るようなことはなく、綱引き等みんなで仲良く何かをやる。勉強が得意な子もいれば、体育が得意な子もいて、それぞれこういう場が活躍する場になる。走り方が変だから、いじめられたとか変なことを言われたとか、今度はそれをそうではないとさせていくことが必要なかと思う。予算的なこと、エアコンの問題もあって、予算をどこで削っていくかということもある中に、こういう市陸のことも入っているのかと感じる。小さい学校の子たちだからこそ、こうやってみんなでやる所を経験させていくには、市陸のようなものがあるといい。昔は各地区でソフトボール大会があったり、町の中での陸上大会があったり、そういうものがどんどんなくなっていく中で、最後に市陸までなくなると、どうなのかと思う。確かに新学習指導要領で授業が増えていくのと、負担が大きいのは明らかである。練習制限、教師が熱くなるというのが、議事録にいくつも出てくる。各校である程度決めごとをやった中で、こういうものをなくすというより、何かしらみんなでこういうことをすることは、私は必要だと思う。負担が大きいということが世の中で言われているので、教職員の方の負担が減るのかと思うが、主は何かと言うと、子どもを育てていく中でなくすよりも、維持できて、やっていけることをしてもらいたい。議事録を何回読み返したかわからないが、いろいろ書いてあって、二極化している。

委員：いつの総合教育会議かは記憶にないが、私が何かでこの市陸にものすごく感激したことを申し上げたことがあったが、その時みんながあまり感激していないような雰囲気を感じ取れた。孫が市陸の幅跳びに出たが、勉強ができてよかったねだけで何もなし。ただ、40人の幅跳びの選手に選ばれて18位だったが、それをものすごく感激した。勉強の1位や2位で感激はない。費用対効果を考えれば、この議事録に書いてあることが大半だと思って、それにはうなずけるものがあるが、子どもたちも違う学校のレベルと照らし合わせて感激すると思う。市陸はぜひ続けていただきたい。反対意見が多い中で、そのように考える。

委員：うちの上の子は、ぼっちゃり運動神経が悪く、下の子は細いが運動神経が悪い。短距離がとにかく遅いので、陸上競技場で走るようなことはまずない。市陸だと6年生になると必ず出る。ここのアンケートにあるように、「結果が出ないと嫌だから」とか「楽しいのは選手だけ」とか、後ろ向きの子もいるかもしれないが、走った後、みんないい顔をしている。団体競技が少なくなって行って、ゲームばかりやっている今の世代の子が、他の学校の子と戦えてわくわくする。29年度のアンケートだと、「キラリのとときみたいに、頑張った後どんなことを感じられるのか楽しみだから。」と子どもの意見がある。こういうことを子どもたちが、この行事がなくなることで全く考えなくなるのもどうかと思う。あれだけ開催して負担は大きいとは確かに思うが、少し競技を減らしてでも続けていくのは、難しいのか。

委員：学力調査のことは言うが、体力調査のことはほとんど言わない。人は生きていく中で、学力もそうだが、体力がなければ生きていけない。中学校に入学すれば、何かしらの部活に入らなければいけない。この中にもいろいろと書かれていて、いろんなチャレンジする場所はあるが、チャレンジできない家庭もある。そういう子たちが、こういう所で陽の目に当たるような所が、この中にはそれ以上にある。体力向上につながる、学力と体力の両輪がないと、学力が上がっていくことばかりではなくて、人として生きていく力の育成に必要ではないか。放課後の練習で、うちの子もその後の塾とかで困ったことがあるが、それをやっている期間だけは、塾に遅れてもいいと思った。放課後をやめて体育の時間の中でやれることを

やるとか、普段の負担も軽減する中でやっていける方針を探してもらえないかと思う。うちの子3人のうち下の子は足が速くて、上の二人はそんなに速くないが、チャレンジ100mで走って、嫌だと言って行ったが、帰ってきて、全然知らない一緒に走った子と腕組みして写真を撮ったり、何かしら達成感がある。他の市がやめていっているのなら、余計にやるべきでは。掛川市では何が学力と一緒に、体力も向上するのか。三島が市を挙げてスポーツを専門分野で抜きに出る子に対して何かをやっていることを聞く。グローバルが、よくいろんな会議の中で出るが、そういう出て行く所には、人間として活力、意欲を上げていくには、できれば市陸のようなものはやってもら方がよいのでは。どういうやり方ができるかは別だが、エコパで走れる子はいないだろうと考えると、それを計画して実施する人は苦勞することを十分理解した中で、エコパを走れたことは、子どもにとって人生の中で大きなことではないか。

委員：参観会はなかなか教室に入らない、懇談会はもちろん人数が少ないといろいろ問題になっている中で、エコパは私も早くに行ったが、駐車場は一杯で、あれだけ親御さんも一生懸命になれる。参観会に出ない親が、あれだけ朝早くお弁当を作って持って行くような行事をやめる必要はないのではないか。

委員：せっかくあれだけ立派な競技場が近くにあって、この競技をスパッとやめるのは。

学校教育課長：保護者の方はぜひやってほしい、教職員は少し無理ではないかと、本当に二つに分かれてしまったので、提言も(1)、(2)の二つで、一つにまとめたかったが、なかなかまとめられなかった。学校の教員も価値は十分に理解している。本当にいいものだと言う中で、でも学習指導要領が増えて、指導する時間がなくて、両方取れない状況になっている。どちらを取るかと言うと、学習指導要領をきちんとやる方が大事ではないかという苦渋の決断であり、これは校長会に委託しているので、校長会の方がそういう事情で、なかなかやりにくいのではないかということで、事務局としてもその方向で考える方がいいとは思っている。

委員：この時期、中学生の陸上部の子が、小学校に来て指導してくれている。

学校教育課長：そういう学校もある。

委員：それがすごくいい。

学校教育課長：小中連携している。

委員：これから逆にこういうことが必要ではないかと思う。

委員：この色を出していく中では、やはり何ができるかを考えなければいけないが、陸上は全てかを書いてあるが、陸上の基礎で、スポーツが全て決まると思う。瞬発力なのか長距離なのか、野球にしてもバスケットにしても、バレーにしても走る基礎がしっかりしていなければいけない。

学校教育課長：体力をつけるための体育の授業は、もちろんちゃんとあるわけだが、全体で集まる機会は、市陸をやめてしまうと失われてしまうことはある。

委員：何かしらできる方法がないか。やめることはできる。今までも維持するための努力をしてきてもらって今日があるかと思う。

教育長：近隣市はどうか。

学校教育課長：御前崎市はもう10年以上前にやめて、袋井市は磐周地区で決めていると思うが、学習指導要領が変わるタイミングでやめることを考えているらしい。

教育長：菊川市は、前任の教育長はやめる方向でという話は聞いた。

委員：学校行事だから全員参加。練習を遅くまでやりきついかからとか、疲れて楽しくなくなるからとか、個人的には嫌だけどみんながやるから運動できない子もやる。エコパで走れるということがわくわくすると書いてある。やめるのは簡単だが。

委員：学習指導要領の問題をクリアするのは大変かもしれないが、体育とかの中で市陸の練習を入れながらやってみて、それでも無理なら無理となるかとは思う。この教師が熱くなるからというのは、抑えられないのかと思う。学校によって差があるとか。

学校教育課長：体育の授業は、陸上だけではなくて、いろいろ、これもこれもやるように決まっているので、やらないと違法のような形になってしまう。

委員：もちろんそれは理解している。

委員：大きな小学校と小さな小学校では、全く選手のレベルが違ってくる。あれはかわいそうだと思う。この形でやると。小さな小学校だと運動が苦手な子も棒高跳びの選手になっている。気の毒だと思うような場面もある。大きな小学校は、それなりに選ばれてくるので、レベルが高くて、それを一緒にやるのもどうかと思うが、それでも。

委員：各学校の中から選抜されてくるからそこにいる。

委員：小さい学校だと選抜もない。

委員：選抜がなければなくてもいいと思う。選抜された子だけがそこに出るわけではない。これは今日ここでそうですという答えも出せない。

学校教育課長：今日決めなければいけないことではない。

教育長：校長会の方も今日の定例会に議題として上げることがを伝えてある。教育委員からこんな御意見をいただいたということで校長会には話をしたいと思う。来年度の開催についてはもう決まっていて、予算も取れていて、あとは中身を校長会の方で、報告書に出ているように工夫していくということなので、その辺もやってみて、校長会からも御意見をいただく。一番私が気にしているのは、学習指導要領が変わっていった時に、課長からも話があったように、実数的なところ、たくさん時間が必要だということで、練習時間の確保等で困ったという声が聞かれている。実は私が学校教育課長の時からこの検討はされていて、声としては縮小の方向でという話が出ていた。ただ、委員から話があったように、その価値、子どもの成長とか、健康面とか体力とかいろいろ総合的に見ていった時には、何とか継続できないかということであったが、これに掛かる予算が約200万円くらい。それが何に使われているかというところ8割がバス代。あと会場のエコパを借りる会場費。結局人件費は、全て教員がやるので掛かっていない。学校現場にすると、そういうところで、スタッフとか普段学校で教えるのを支援してくれる方がいれば、また話は違ってくるということ。部活動もそうだが、なかなかそういった指導員が見つからない状況なので、小学校でも父兄で多少やれる方に御協力いただいている程度で終わっていると思う。そういった面の問題もあるということで、校長先生方からは御意見を伺っている。この報告書の中に、委員で体育協会の方が入っていたが、そういった所へ委託してやれないかと言う話を前にも出したが、それも少し厳しいということだった。他へ委託しても運営の主体がやはり教職員になってしまうのではないかということ。教育委員の意見も伺いながら、校長会の方へもう一度諮って、32年度にどういうふうになるかを踏まえた検討をお願いしていきたいと思っている。その検討された内容で、もう一度教育委員に諮っていただきたいということであれば、また報告させていただきたいと思う。これだけの検討会をやるということは、来年度は無理だと思うので、校長会の中での協議をお願いしていきたい。

その他意見はなく、承認された。

- (4) 掛川市教育委員会に置かれる事務局等の組織に関する規則等の一部改正について教育政策室教育政策係長から協議資料4のとおり説明があった。

委員：日本遺産に関することとは何か。

社会教育課長：日本遺産は全国の史跡を含めた名所・名跡のようなもので、概ね100箇所選ぶことになっている。有名な所で言うと京都・奈良にある所になる。静岡でいくと、昨年初めて三島と小田原の旧東海道、箱根の街道が入っている。一つの市町単独で挙げるものと、リアル型と言って複数の市町で挙げるものがある。場合によっては全国的に展開しているものもある。掛川市の場合は、単独の形を取って、大日本報徳社、街中、城の中心部にある二の丸御殿をはじめとした木造の建物群が充実してあるので、そこをテーマとした形を出していくこととなった。今までどちらかと言うと、単独で史跡はあったが、そういったテーマを決めて、観光的に売り出していく。直近で言うと、2020年のオリンピック、パラリンピックといったところをしっかりと目指して、外国人の方にも興味を持って見ていただく。掛川市が決まったわけではなくて、エントリーしたところ。5月の連休明けくらいに、その合否が決まってくるようになる。そうすると国から補助金が10分の10、金額的には概ね7,000万円くらいのお金が3年間掛けて、いろんなソフト事業として割り振りされる。その後は自立的、自走して、そういったものの保存活用並びに観光として活用を進めていく足掛けになるような事業である。全国的な割合でいくと、100のうち67箇所まで決まっているので、今回のところで概ね15箇所、もう一年あると思うが、掛川市は昨年もエントリーして、残念ながら落ちてしまった。今リベンジという形で望んでいる。

委員：木造建築で攻めるのか。

社会教育課長：そのとおり。木造建築群は全国的にはあるが、掛川市の場合は報徳の物があそこに集中してある。二の丸にしてもそういった物が残されている、大事に使おうという精神。

委員：主になる物があって、こういう物がある。

社会教育課長：テーマを決めて、木造建築群はどこにでもあるが、木造建築群がなぜあそこに残っているかというテーマとして、掛川の場合は報徳が根付いたが故に、残ったのではないかということ。全国的には即物的な物を出しているが、掛川の場合には精神的なこと、難しいが、あえて掛川らしさという面で売り出していこうということを出した。

委員：ろう人形の管理に関することだが、先ほど市長が、松本亀次郎記念館にしたいという話があるということだったが、記念館をどこかへ建てるのか。

図書館長：ろう人形のある部屋のこと。

委員：具体的に管理についての内容的なことは、これからなのか。

教育部長：まだ、これから。松本亀次郎記念館という施設の管理に関するのではなくて、ろう人形の管理になっている。

委員：北公民館に松本亀次郎記念館がなかったか。

教育部長：元々そうだった。今考えているのは、大東図書館と松本亀次郎記念館が併設されているというところしていきたい。

教育長：今は郷土ゆかりの部屋だったか。

教育部長：そのとおり。

教育長：そこをそのまま記念館にして、案内の看板を立てるか。

教育部長：松本亀次郎に関するいろんな資料がたくさんあるので、常設展ばかりではなくて、入れ換えていろんな資料を展示する。

委員：図書館に来て、あそこに上がっていく方がなかなか少ない。

教育部長：ここのところ概ね一日100人くらい来ている。市長はインバウンドで、中国人観光客をたくさん連れてくればいいと言うが、いくらたくさん来てくれてもお金が一銭も入らない。まだはっきりした方向が決まっていない。これから検討する。入場料でも取れば少しは違うが、個人の記念館はなかなか難しい。よほど好きな人でないと。吉岡彌生記念館もそうだが、一回くればいいとなる。個人記念館の存続は非常に難しい。

委員：財団みたいに別のバックアップがあれば別。

教育部長：加山雄三ミュージアムもそうだし、石原裕次郎記念館もそう。どんどん減っている。あのレベルでも減ってしまう。あと、イチローの記念館も減っている。展示が変わらない。何度も行くことがない。美術館とは違う面がある。

その他の意見はなく、承認された。

- (5) 第2期掛川市教育振興基本計画について  
教育政策室指導主事から協議資料5のとおり説明があった。

意見はなく、承認された。

## 5 報告事項

- (1) 掛川市内小中学校のあらわれについて  
学校教育課長から報告資料1のとおり報告があった。
- (2) 平成31年度児童生徒数及び学級数について  
学校教育課長から報告資料2のとおり報告があった。
- (3) 平成31年度校長・教頭等の一覧について  
学校教育課長から報告資料3のとおり報告があった。
- (4) 平成30年度末離任式及び平成31年度着任式について  
学校教育課長から報告資料4のとおり報告があった。
- (5) 平成30年度掛川市立小中学校「学校評価」について  
学校教育課長から報告資料5のとおり報告があった。

委員：評価指標の目標値4.5というのは、何を満として4.5と出るのか。5段階で4.5なのか。

学校教育課長：これは学校で決めていて、アンケートの段階で点数を決めていて、それを数値化していると思う。

委員：満点が5点で4.5点なのか。

学校教育課長：多分5点だと思う。

- (6) 平成30年度「虹の架け橋教室」実績について  
学校教育課長から報告資料6のとおり報告があった。

教育長：一番多い国はどこか。ブラジルが多かったか。

学校教育課長：ブラジルが多いと思う。最近はいろんな国、フィリピンとか中国もいる。

- (7) 英語力調査の結果概要と今後の取組について  
学校教育課長から報告資料7のとおり報告があった。

委員：受検料というのは、どうなっているか。高校の場合も今度新しい大学入試で、民間の検定とかを使うということで、経済力があるないで差が出るのが大分話題になっているが、英検を多くの生徒に受けてもらって、平準の力を上げていくことは大賛成だが、資料の4番の「英検等外部試験」の所のパーセントが上がっていないというのは、そういった受検料の問題も掛かってくるのでは。それから英検 I B Aの方も受検料が発生するのか。

学校教育課長：そのとおり。この I B Aの方は、全員受けて一人500円で、全額市が負担している。I B Aではない英検の方は補助をしていないので、今委員が言われたとおり、そのこともあるのかもしれない。本当はそこまで補助できればよいが。

委員：それはいくらくらいするのか。

学校教育課長：3級で3,000円くらい。

委員：自分が子どもの時、中学校で全員英検を受けさせられていた。

学校教育課長：昔は学校を会場でやっていた。今はなかなか土日を使うとか、部活もあるので、学校ではやっていない。静岡産業大学とか静岡理工科大学とかへ行って受けるような形でやっている。

委員：塾に行っていると、塾で勧められて、塾で個人的に受ける。やはり受ける子は少ない。

委員：やるともっといいよということを教えてあげないといけない。

- (8) 平成31年度掛川市立幼稚園総園児数見込みについて  
こども希望課主幹から報告資料8のとおり報告があった。

- (9) 平成30年度掛川市立幼稚園における学校評価について  
こども希望課主幹から報告資料9のとおり報告があった。

委員：私立の幼稚園だけではなくて、小学校、中学校、高校、大学と私学の場合は、建学の精神というのがある。公立にはないわけだが。今度民間の経営になってくると、例えば大須賀苑で経営するこども園とか、この前閉園式があった大坂と睦浜の幼稚園も大東福祉会のおおさかこども園になってくると、今までの掛川市立と民営化した幼稚園・こども園との建学の精神や教育目標の差とか、民間だから建学の精神を改めて設けることがあるのかどうか。要はどういうことかと言うと、例えば、自分の幼稚園はこういうふうな教育原理とか教育思想に基づいて経営しますと謳っている所がある。モンテッソーリ教育とか。この幼稚園へ来れば、そういったことを重視して子どもたちの自由な発想とか、いろんな経験をさせるとかを謳い文句にしながらあったりする。この地域だとあまり競走がないので、そんなことをしなくても来る人は来ると思うが、民営化した時の建学の精神が、改めて法人の方で作られてくるものなのかどうか。

こども希望課主幹：それぞれ幼稚園ごとに経営方針はある。

委員：それは建学の精神と言うよりも、教育目標みたいなものか。

こども希望課主幹：そのとおり。

委員：どこがそれを引き受けてくれたかだけの話ではなくて、それをどうやって教育していくかというものが無いといけない。逆に掛川市から手が離れることによって、何も目が入ることがなくなるということか。視察が入るわけでもない。

教育長：小中学校では、よく校訓と言ってコンパクトに言葉をまとめて持っている所が伝統的にある。幼稚園の場合はそういったものはどうなのか。それぞれ特徴を持って、建学の精神とまではいかないかもしれないが、何かしらあるのでは。

委員：幼児教育の主たるものは一体何かと言うもの。

教育長：そういったものは多分かなりカラーが出てくるのではないかと。今年私もこども園へいくつ行ったが、やはり園ごとにカラーがある。言葉として大きく謳っていたかは記憶にないが、そういったものが出てくるのかと思う。

委員：掛川市にある幼稚園、こども園がどういうふうなものを謳っているかが一覧でわかるといい。それがあると把握しやすい。私学だから公立だからではなく、全ての幼稚園がどういう目標を持ってやっているかがわかると、こちらでもこども希望課にしても、意見が出た時、聞かれた時に、ここはこうだとすぐにわかるといい。

委員：このアンケートの「そう思う」「やや思う」で、さかがわ幼稚園のAが55.6%で、「やや思う」は、私は感覚的にAとかけ離れていると思うが、それを合計して98%で、大淵幼稚園のAの83.7%と一緒にになってしまう。この数字を足した意味は何かあるのか。

こども希望課主幹：満足しているかしていないかで分けてある。

委員：やや満足しているのと合計している。

委員：素直にAに丸できないのがあるのでは。

委員：学校でもそうだが、学校に満足しているというのが、90何%と出てくるが、92%が学校に満足していますと言っても、残り8%が満足していない言うと、学校の評議員をやっている時に、8%が満足していないと強調する校長先生と、92%を強調する校長先生との差が出る。

委員：他の項目もそういう傾向があるから、そこに在籍している親の感覚的なものもあるのでは。

委員：もっと求めているものがあるかどうか。

委員：三段階だったら、どうなっていたか。

こども希望課主幹：真ん中が増えてしまう。

委員：三つだと中心化傾向が多くなる。

委員：何かどこかが引っかかっている。

教育長：佐東幼稚園は人数が少ないので、無回答が大きくなっている。一人によって大きくなってしまっている。

(10)原野谷学園・城東学園新たな学園づくり地域検討委員会報告書について  
教育政策室指導主事から報告資料10のとおり報告があった。

委員：平成29年度から31年度にかけてということだが、この30年度末に出たということは、この報告書は最終ではないのか。

教育政策室指導主事：城東学園と原野谷学園の小中一貫教育の研究は3年間で行っている。それは学校の方の小中一貫教育研究になる。こちらの新たな学園づくりの地域検討委員会につ

いては、昨年度策定した「小中一貫教育推進基本方針」に沿って行って、研究をしながら平行して、地域の方々に小中一貫教育を推進するためにふさわしい学校の在り方について検討いただいたというところで、この度まとめとしての報告書が出た。

委員：提言だからこれは一区切りとなるのか。

教育政策室指導主事：そのとおり。今後、市の方でも市全体の学校施設の在り方、適正規模・適正配置のことも別で考えていく中で、この報告書の考えも活かしながら、今後どうしていくかを市のサイドで考えていかなければいけないと思っている。

教育部長：これで決定ということではない。

委員：まあ、お金も掛かることだし、向こう何年か見通してやらなければいけないこと。この後のタイムテーブルがすぐ整うというわけではないのか。

教育政策室指導主事：そのとおり。

委員：城東学園の一体型または隣接型というのは、最後はまとめられなかったのか。

教育政策室指導主事：最終的には、検討委員の方々のほとんどが近くにあった方がいい。それが一つになった方がいいのか、道路を挟んででも離れていた方がいいのかというところでは、最後まとまりきらなかった。今の分離型よりも一つのエリアにしていった方がいいというのは、30人の委員のうち29人だった。

委員：中学校の反対側の所に、片方に小学校ができて、片方に中学校が道を隔ててあるくらいの方がいいというのがみんなの考え方では。

教育政策室指導主事：それもあるし、一つにした方がいいという意見も中にはたくさんあった。

委員：検討委員会に参加されている方は、実際に子どもさんがいる保護者か。

教育政策室指導主事：原野谷学園の29頁を見ていただくと検討委員の名簿があって、約3分の1若しくは半分くらいPTA関係になる。実際に子どもさんが通われている保護者の方々若しくは乳幼児、保育園とかに預けている保護者の方に参加していただいた。城東学園も同じだが、園・小学校の数が多いので、23頁に名簿があるが、半分以上が保護者の参加になる。

委員：私の知り合いも参加しているので、よく話は聞く。

## 6 その他

### (1) 次回以降教育委員会定例会の日程等について

ア 教育委員会4月定例会  
平成31年4月24日（水） 午後1時  
掛川市役所南館 教育委員会室

イ 教育委員会5月定例会  
平成31年5月29日（水） 午後3時  
掛川市役所南館 教育委員会室

ウ 平成31年度 教育委員会定例会開催候補日（案）について

### (2) その他の予定について

ア 管外転入教職員着任式

平成31年4月1日（月） 午後4時  
掛川市役所 4階会議室1

イ 小中学校入学式

平成31年4月5日（金） 午前：小学校 午後：中学校  
戸塚委員：横須賀小学校、大須賀中学校（※横須賀小、大須賀中は4月4日（木））  
永田委員：大坂小学校、大浜中学校  
橋山委員：第一小学校、東中学校  
岩尾委員：曾我小学校、西中学校

ウ 幼稚園入園式

平成31年4月9日（火） 午前  
戸塚委員：横須賀幼稚園  
永田委員：大淵幼稚園  
橋山委員：さかがわ幼稚園

エ 平成31年度静岡県市町教育委員会連絡協議会 総会

平成31年5月8日（水） 午後1時15分から午後4時  
ホテルオーレ（JR藤枝駅南口前）  
出席対象：教育長職務代理者 → 戸塚委員 出席

オ 平成31年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会（山梨大会）

平成31年5月31日（金） 受付：午前12時 / 開会：午後1時 / 閉会：午後4時20分  
山梨県北杜市 女神の森セントラルガーデン（JR小淵沢駅からタクシーで5分）  
出席対象：教育長、教育委員 → 永田委員、橋山委員、岩尾委員 出席

## 7 閉 会

教育長：教育委員会3月定例会を閉会する。